

令和 7 年度

第 1 回鶴見区民アンケート

報告書

大阪市鶴見区役所

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 配布・回答結果	1
4. ご回答いただいた方の基本事項について	2
5. 調査結果の表示方法	4
II 調査結果	8
1. 情報の入手について	8
問1 あなたは、鶴見区役所が実施する広報（『広報つるみ』、ホームページ、SNS、広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選んでください）	8
問2 （問1で「1 できている」又は「2 ほぼできている」と回答された方へ）あなたは、どのような媒体から区政情報を入手していますか。（いくつでも選んでください）	9
問3 （問1で「3 あまりできていない」又は「4 できていない」と回答された方へ）あなたが、必要とする区政情報を必要なときに入手できていない理由は何ですか。（1つ選んでください）	11
問4 あなたは、鶴見区役所が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政（事業等の内容、イベントやお知らせ）について関心が高まりましたか。（1つ選んでください） ..	12
2. 地域福祉の推進について	13
問5 鶴見区役所では、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めています。あなたは、災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。（1つ選んでください）	13
問6 鶴見区役所では、地域での支え合い・助け合いの意識づくりと活動への参加促進に向け、公的な福祉サービスでは対象外とされている、外出時の付き添いなど日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動」（通称：『あいまち』）を実施しています。あなたは、『あいまち』を知っていますか。（1つ選んでください）	14
問7 鶴見区には、地域の身近な相談窓口として専門機関などと連携し、さまざまな生活課題を抱えた人を支援につなげていく「地域福祉コーディネーター」（通称：『つなげ隊』）が各地域（小学校区ごと）にいます。あなたは、『つなげ隊』を知っていますか。また、こうした課題に直面した時に『つなげ隊』に相談しようと思いますか。（1つ選んでください）	15
問8 鶴見区役所では、認知症の方をはじめ高齢者及び障がいのある方とその家族をサポートするため、相談支援体制の充実を図るとともに、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に取り組み、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めています。あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。（1つ選んでください） ...	16
問9 鶴見区役所では、障がい者への理解を深めるため、障がい者スポーツの普及啓発に取り組んでいます。あなたは、障がい者スポーツについて関心や経験がありますか。（1つ選んでください）	17
3. 子育てについて	18
問10 あなたは、鶴見区は子育てしやすいまちだと感じていますか。（1つ選んでください）	18

問 11 あなたの世帯に現在、中学生以下の子どもはいますか。（１つ選んでください）	19
問 11 （問 11 で「１ いる」と回答された方へ） 子どもは、次のどれにあてはまりますか。（いくつでも選んでください）	20
問 12 （問 11 で「１ いる」と回答された方へ） あなたは、区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで、子育て相談ができることを知っていますか。（１つ選んでください）	21
問 13 （問 11 で「１ いる」と回答された方へ） あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。（１つ選んでください）	22
4. 健康管理について.....	23
問 14 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取り組みを行っていますか。（いくつでも選んでください）	23
問 15 （問 14 で「４ 何もしていない」と回答された方へ） あなたが、健康に関する取り組みを行わない理由は何ですか。（１つ選んでください）	24
問 16 （問 14 で「４ 何もしていない」と回答された方へ） 鶴見区役所では、運動や食生活など健康に関する取り組む機会のない人にも、健康につながるきっかけとなるイベントや情報発信を検討しています。あなたは、次のどの形式であれば興味がありますか。（１つ選んでください）	25
問 17 （問 14 で「４ 何もしていない」と回答された方へ） あなたは、次のどの内容であれば参加等してみたいですか。（３つまで選んでください）	26
問 18 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）	27
問 19 あなたは、「人生会議」を知っていますか。（１つ選んでください）	29
5. 鶴見区全般について.....	30
問 20 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。	30
Ⅲ 調査票	32
（参考）クロス集計表.....	別紙

I 調査の概要

1. 調査の目的

サイレントマジョリティなど表面化しにくい区民からの多様な意見等の収集・把握を行い、施策・事務事業を進めるうえでの基礎資料とする。

2. 調査方法

調査期間：令和7年12月25日(木)～令和8年1月14日(水)

調査対象：令和7年10月末時点で無作為抽出した18歳以上80歳未満の鶴見区民（外国籍住民を含む）1,000人

調査方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答またはインターネットによる回答により実施。

3. 配布・回答結果

配布数：1000件（うち、郵送不達数6件、有効配布数994件）

有効回答数：575件（うち、WEB：195件、郵送：380件）

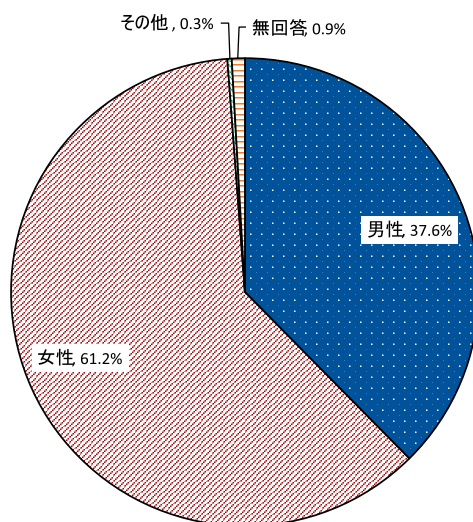
有効配布数に対する回答率：57.8%

4. ご回答いただいた方の基本事項について

性別

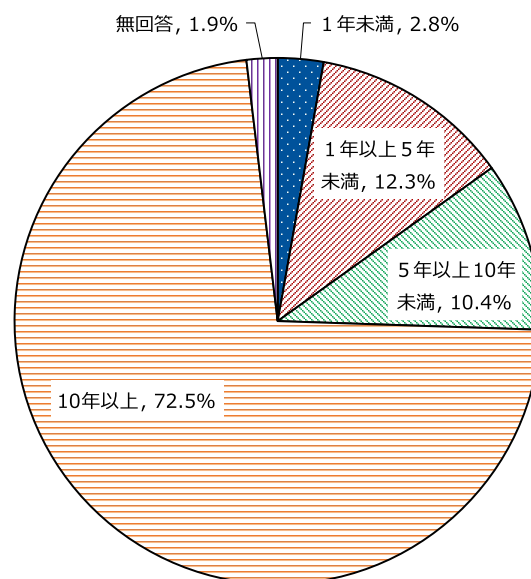
項番	選択肢	回答件数・割合		(参考) 住民基本台帳人口・割合	
1	男性	216	37.6 %	40,412	48.2 %
2	女性	352	61.2 %	43,439	51.8 %
3	その他	2	0.3 %	-	-
4	無回答	5	0.9 %	-	-
合計		575	100 %	83,851	100 %

住民基本台帳人口と比べ、回答者は女性の割合が高くなっています。



居住年数

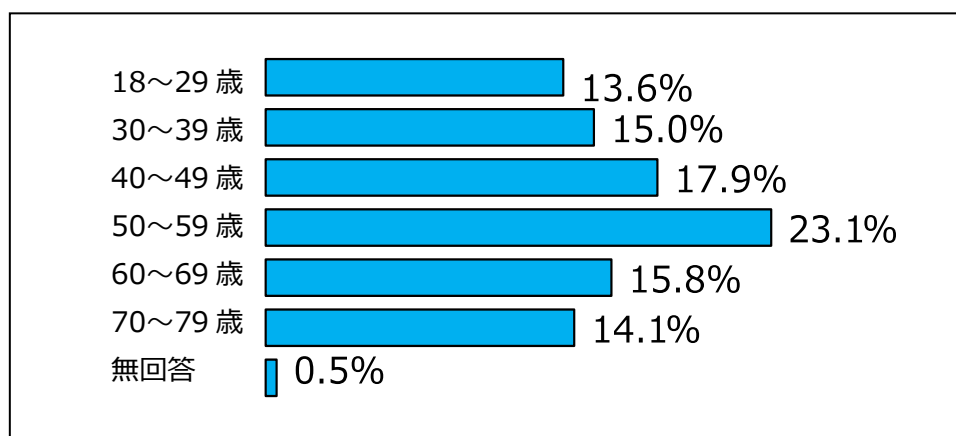
選択肢	件数	割合
1 年未満	16	2.8 %
1 年以上 5 年未満	71	12.3 %
5 年以上 10 年未満	60	10.4 %
10 年以上	417	72.5 %
無回答	11	1.9 %
合計	575	100 %



年齢

項番	選択肢	回答件数・割合		(参考) 住民基本台帳人口	
1	18～29 歳	78	13.6 %	14,284	17.0 %
2	30～39 歳	86	15.0 %	13,338	15.9 %
3	40～49 歳	103	17.9 %	15,222	18.2 %
4	50～59 歳	133	23.1 %	18,334	21.9 %
5	60～69 歳	91	15.8 %	11,895	14.2 %
6	70～79 歳	81	14.1 %	10,778	12.9 %
7	無回答	3	0.5 %	-	-
合計		575	100 %	83,851	100 %

住民基本台帳人口と比べ、18～29 歳の回答者は少なく、50 歳以上の回答者がやや多くなっています。



地域

項番	選択肢	件数	割合	
1	緑地域	44	7.7 %	 7.7%
2	鶴見北地域	36	6.3 %	 6.3%
3	鶴見地域	57	9.9 %	 9.9%
4	榎本地域	82	14.3 %	 14.3%
5	今津地域	55	9.6 %	 9.6%
6	茨田南地域	49	8.5 %	 8.5%
7	茨田地域	24	4.2 %	 4.2%
8	茨田東地域	23	4.0 %	 4.0%
9	茨田北地域	51	8.9 %	 8.9%
10	焼野地域	24	4.2 %	 4.2%
11	茨田西地域	39	6.8 %	 6.8%
12	横堤地域	54	9.4 %	 9.4%
13	分からない	32	5.6 %	 5.6%
14	無回答	5	0.9 %	 0.9%
合計		575	100 %	

5. 調査結果の表示方法

- (1) 調査結果に示す割合（％）は、有効回答数に対する各回答の割合を算出し、小数点第 2 位を四捨五入したものです。このため、単一回答の設問であっても、合計値が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問については、選択肢ごとの割合を有効回答数に基づき表示しているため、合計が 100%を超える場合があります。
- (2) 回答者数が少数の場合、算出される比率に偏りが生じやすく、集計結果の解釈には注意を要します。

■ 標本誤差について

標本調査とは、標本による測定値（調査結果）に基づいて母集団の特性を推定するものです。

本調査は標本調査として実施したものであり、結果の解釈にあたっては、標本誤差および非標本誤差の双方に留意する必要があります。なお、本調査においては、回答者集団の構成に一部偏りが見られることから、母集団の構成を完全に反映していない可能性があります。そのため、調査結果を母比率の推定値として用いる際には、一定の制約がある点に留意が必要です。

理論的に求められる信頼度 95%における信頼区間の 1/2 幅（標本誤差）は、次式により算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

注：P 回答比率、n 回答者数

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

	回答比率(P) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	575	1.8	2.5	2.9	3.3	3.5	3.7	3.9	4.0	4.1	4.1
男性	216	2.9	4.0	4.8	5.3	5.8	6.1	6.4	6.5	6.6	6.7
女性	352	2.3	3.1	3.7	4.2	4.5	4.8	5.0	5.1	5.2	5.2
18～29 歳	78	4.8	6.7	7.9	8.9	9.6	10.2	10.6	10.9	11.0	11.1
30～39 歳	86	4.6	6.3	7.5	8.5	9.2	9.7	10.1	10.4	10.5	10.6
40～49 歳	103	4.2	5.8	6.9	7.7	8.4	8.9	9.2	9.5	9.6	9.7
50～59 歳	133	3.7	5.1	6.1	6.8	7.4	7.8	8.1	8.3	8.5	8.5
60～69 歳	91	4.5	6.2	7.3	8.2	8.9	9.4	9.8	10.1	10.2	10.3
70～79 歳	81	4.7	6.5	7.8	8.7	9.4	10.0	10.4	10.7	10.8	10.9

※性別の「その他」は回答者数が少なく（ $n < 30$ ）、統計的に信頼できる誤差の範囲を示すことが困難なため、当該項目の標本誤差は記載しておりません。

例えば、問 10 の「あなたは、鶴見区は子育てしやすいまちだと感じていますか。」の結果を見ると、肯定的な意見（「感じる」＋「どちらかといえば感じる」）は男性で 75.5%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値（75%）の「男性」の標本誤差の数値 5.8%です。

■標本の代表性

母比率の推定などの統計的推定を行うためには、標本（回答者集団）が母集団の特性を適切に反映していることが前提となります。本調査では、この点を確認するため、回答者集団の構成比が母集団の構成比と一致しているかについて、カイ二乗適合度検定を用いて検証を行いました。検定における仮説は以下のとおりです。

（帰無仮説）標本の構成比は母集団の構成比と一致している（有意な差はない）

（対立仮説）標本の構成比は母集団の構成比と一致していない（有意な差がある）

有意水準は 5%に設定し、検定から得られる P 値が有意水準を上回るかどうかにより判断します。なお、有意水準とは、帰無仮説が正しいにもかかわらずこれを棄却してしまう確率（第一種の過誤）をどの程度まで許容するかを示す基準であり、本調査ではこれを 5%としました。また、P 値とは、帰無仮説が正しいと仮定した場合に、観測された結果と同程度またはそれ以上に乖離した結果が得られる確率を示すものです。

本検定はあくまで構成比の一致性を検証するものであり、回答結果全体の代表性を完全に保証するものではない点に留意する必要があります。

■母集団の大きさ（N）※令和7年10月末日現在の住民基本台帳人口

(単位：人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	7,022	6,502	7,462	8,908	5,801	4,717	40,412
女性	7,262	6,836	7,760	9,426	6,094	6,061	43,439
合計	14,284	13,338	15,222	18,334	11,895	10,778	83,851

■適合度検定における分析対象者数（n）

(単位：人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	34	26	32	42	44	38	216
女性	43	59	70	90	47	43	352
合計	77	85	102	132	91	81	568

※性別及び年代の適合度検定において、性別（男性または女性）及び年齢の両方に回答が得られた方を分析対象者としています。（性別が「その他」または無回答の方及び年齢が無回答の方については、当該分析対象者からは除外しましたが、その他の集計においては有効回答者として取り扱っています）

■期待値

(単位：人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	48	44	51	60	39	32	274
女性	49	46	53	64	41	41	294
合計	97	90	104	124	80	73	568

■適合度検定によるP値の算出

	検定統計量 (カイ二乗値 χ^2)	上側確率 5%点	自由度	P 値
性別	23.52	3.84	1	$1.2 \times 10^{-4}\%$
年齢区分	7.08	11.07	5	21.5%

性別に関する適合度検定の結果、P 値は $1.2 \times 10^{-4}\%$ であり、有意水準 5%を下回ります。

このことから、母集団と回答者の性別構成比に有意な差が認められ、回答者において性別の偏りが生じていると判断されます。

年齢に関する適合度検定の結果、P 値は 21.5%であり、有意水準 5%を上回ります。

このことから、母集団と回答者の年齢構成比に有意な差は検出されず、回答者において年齢の大きな偏りはないと考えられます。（ただし、標本の代表性を保証するものではありません）

■集計・分析上の留意事項

本文中の傾向に関する記載（コメント）は、回答数が確保できる集計を中心に、『全体』および『年齢別』の傾向を記載しています。令和5年度まで記載していた居住年数別・地域別等は階層によって回答数が少なく標準誤差が大きくなりやすいため、令和6年度より本文中の記載を控え、数値は参考資料（クロス集計表）に掲載しています（各区分の件数は表中で確認できます）。

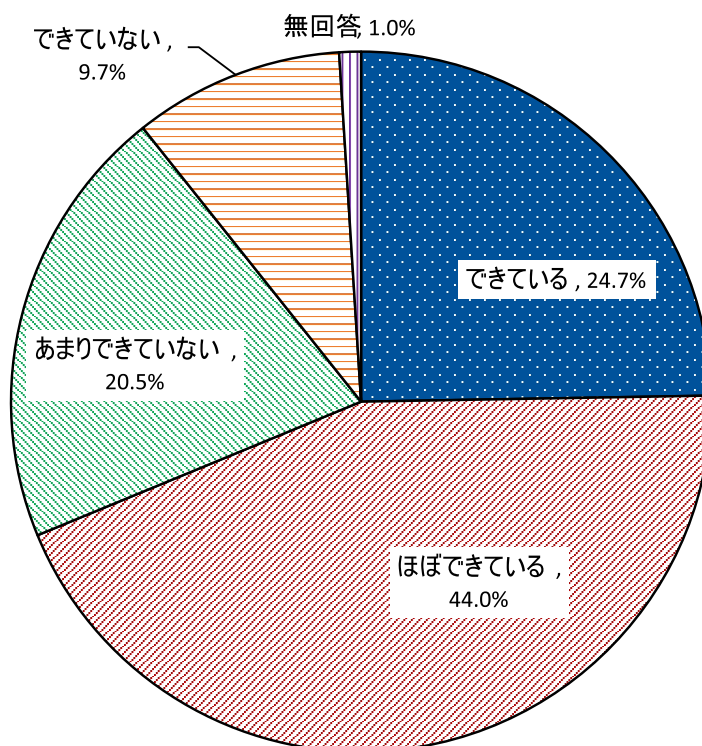
また、回答者を特定の条件で限定した集計（例：設問3のように『できていない』と回答した人のみへの設問）では対象数が小さくなるため、本文の傾向コメントは全体のみとし、年齢別を含む詳細は参考資料（クロス集計表）に掲載しています。

Ⅱ 調査結果

1. 情報の入手について

問 1 あなたは、鶴見区役所が実施する広報（『広報つるみ』、ホームページ、SNS、広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	できている	142	24.7 %
2	ほぼできている	253	44.0 %
3	あまりできていない	118	20.5 %
4	できていない	56	9.7 %
5	無回答	6	1.0 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

全体から見ると、「1 できている」「2 ほぼできている」と答えた人の合計の割合が 68.7%となりました。

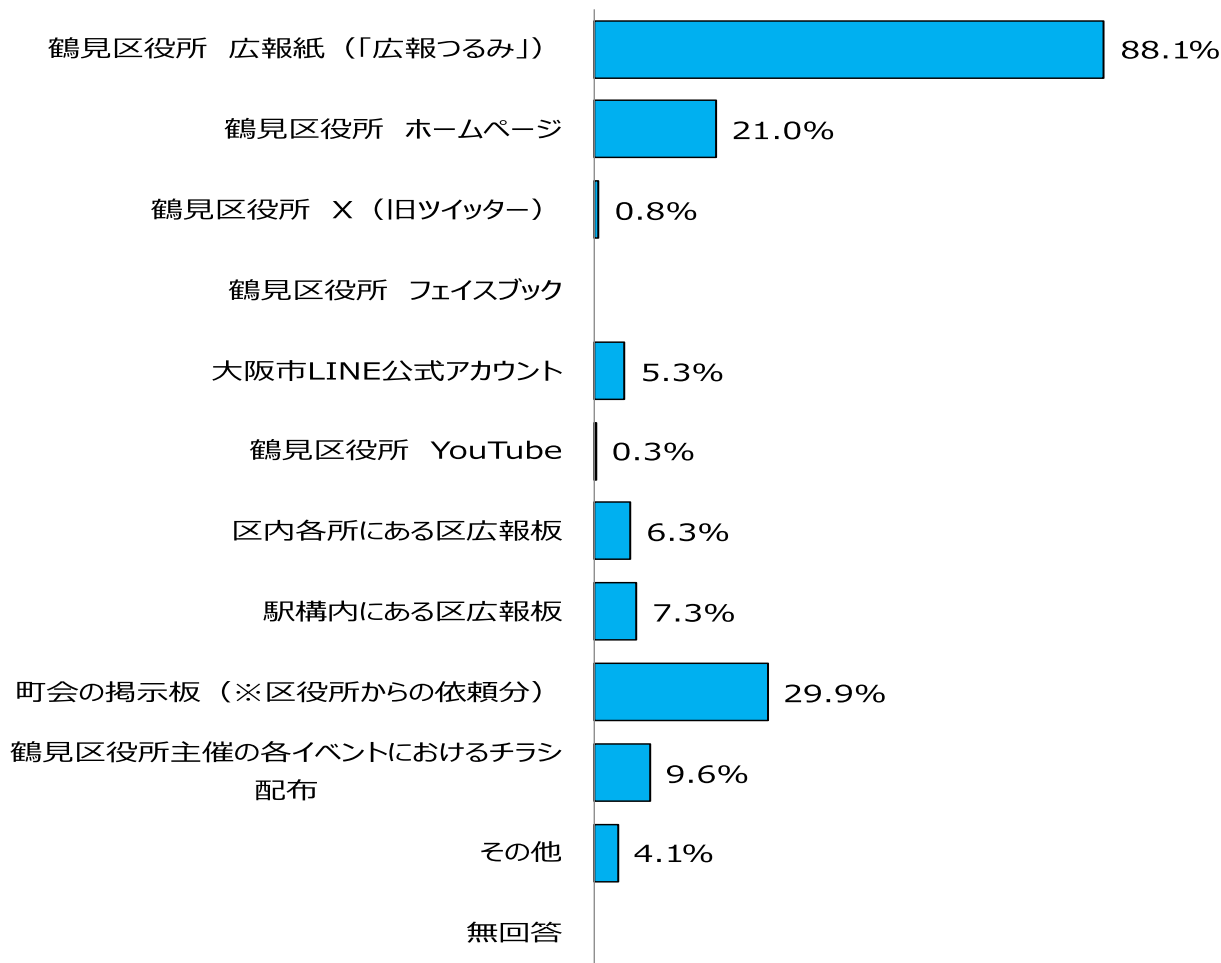
【年齢別傾向】

年齢別に「1 できている」「2 ほぼできている」と回答した割合を見ると、30～39 歳及び 50～59 歳が 74.4%、次いで 60～69 歳が 73.7%、次いで 70～79 歳が 69.1%となっています。

問2 (問1で「1 できている」又は「2 ほぼできている」と回答された方へ)

あなたは、どのような媒体から区政情報を入手していますか。(いくつでも選んでください)

項番	選択肢	件数	割合
1	鶴見区役所 広報紙（「広報つるみ」）	348	88.1 %
2	鶴見区役所 ホームページ	83	21.0 %
3	鶴見区役所 X（旧ツイッター）	3	0.8 %
4	鶴見区役所 フェイスブック	0	0.0 %
5	大阪市 LINE 公式アカウント	21	5.3 %
6	鶴見区役所 YouTube	1	0.3 %
7	区内各所にある区広報板	25	6.3 %
8	駅構内にある区広報板	29	7.3 %
9	町会の掲示板（※区役所からの依頼分）	118	29.9 %
10	鶴見区役所主催の各イベントにおけるチラシ配布	38	9.6 %
11	その他	16	4.1 %
12	無回答	0	0.0 %
合計		395	—



【全体的傾向】

全体から見ると、「1 鶴見区役所 広報紙（「広報つるみ」）」と答えた人が最も多く、88.1%となりました。

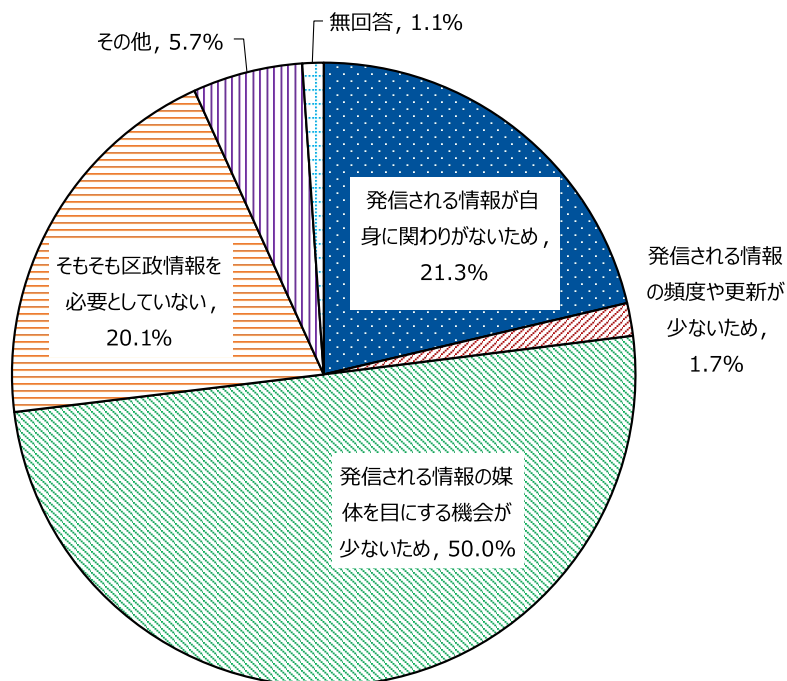
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・マンションの掲示板
- ・ポストに投函して頂いてます。
- ・町内会の方からのおはなし
- ・つるみはポストに入れてくれています。
- ・町会の回覧板

問3 (問1で「3 あまりできていない」又は「4 できていない」と回答された方へ)

あなたが、必要とする区政情報を必要なときに入手できていない理由は何ですか。(1つ選んでください)

項番	選択肢	件数	割合
1	発信される情報が自身に関わりがないため	37	21.3 %
2	発信される情報の頻度や更新が少ないため	3	1.7 %
3	発信される情報の媒体を目にする機会が少ないため	87	50.0 %
4	そもそも区政情報を必要としていない	35	20.1 %
5	その他	10	5.7 %
6	無回答	2	1.1 %
合計		174	100 %



【全体的傾向】

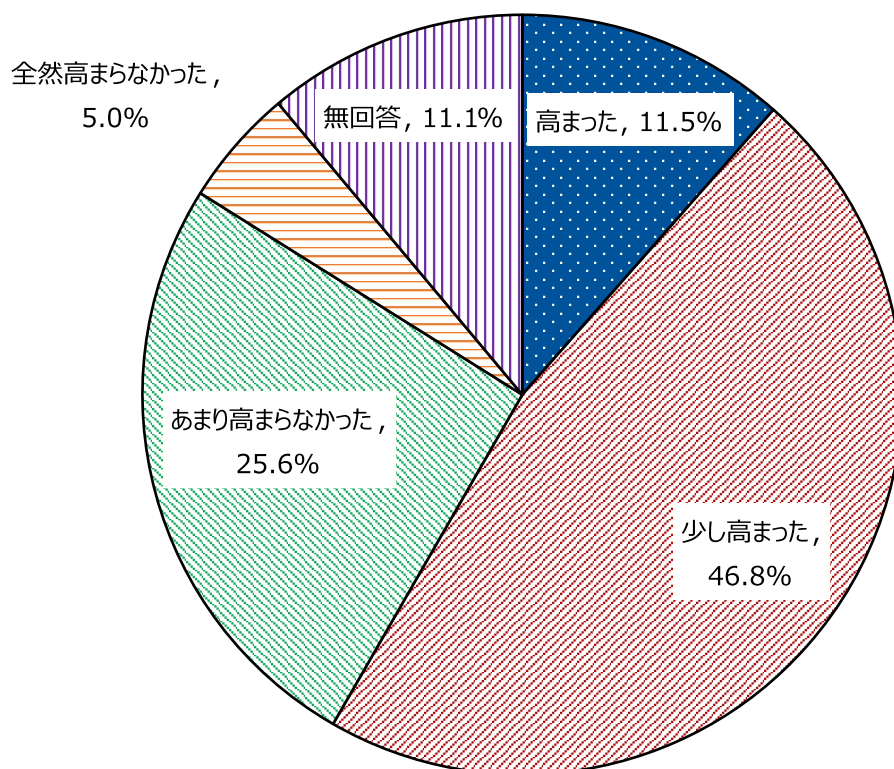
全体から見ると、「3 発信される情報の媒体を目にする機会が少ないため」と答えた人が最も多く、50.0%となりました。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・介護(要介護 5)で余裕が無い
- ・広報つるみの存在を知らなかった
- ・仕事が忙しくて、余裕がない
- ・何処で貰えるか分からない
- ・区政情報が何なのかわからない

問 4 あなたは、鶴見区役所が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政（事業等の内容、イベントやお知らせ）について関心が高まりましたか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	高まった	66	11.5 %
2	少し高まった	269	46.8 %
3	あまり高まらなかった	147	25.6 %
4	全然高まらなかった	29	5.0 %
5	無回答	64	11.1 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

全体から見ると、「2 少し高まった」と答えた人が最も多く、46.8%となりました。

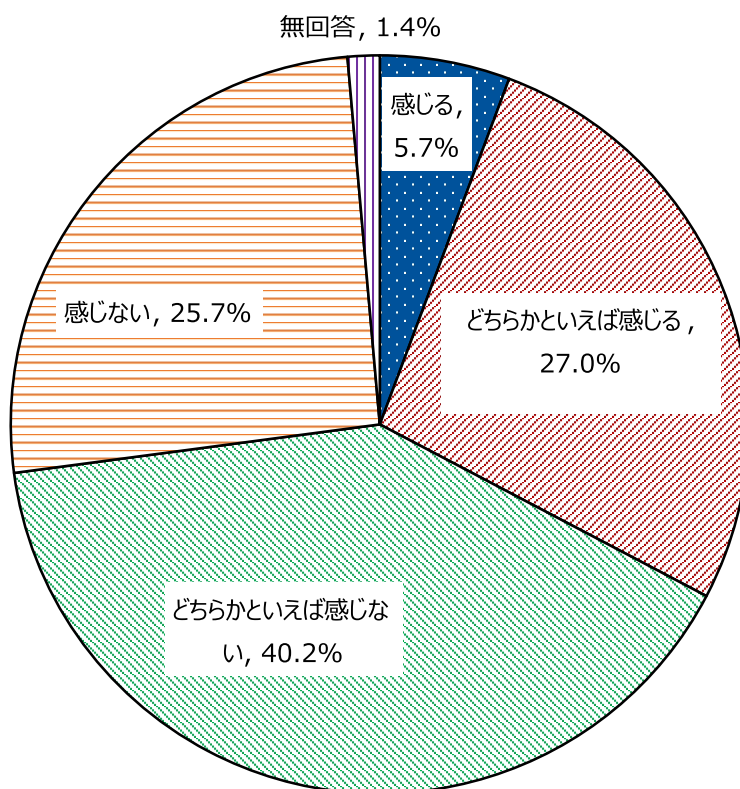
【年齢別傾向】

年齢別に「2 少し高まった」と回答した割合を見ると、30～39 歳が 52.3%、次いで 18～29 歳が 51.3%、次いで 50～59 歳が 48.9%となっています。

2. 地域福祉の推進について

問5 鶴見区役所では、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めています。あなたは、災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	33	5.7 %
2	どちらかといえば感じる	155	27.0 %
3	どちらかといえば感じない	231	40.2 %
4	感じない	148	25.7 %
5	無回答	8	1.4 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

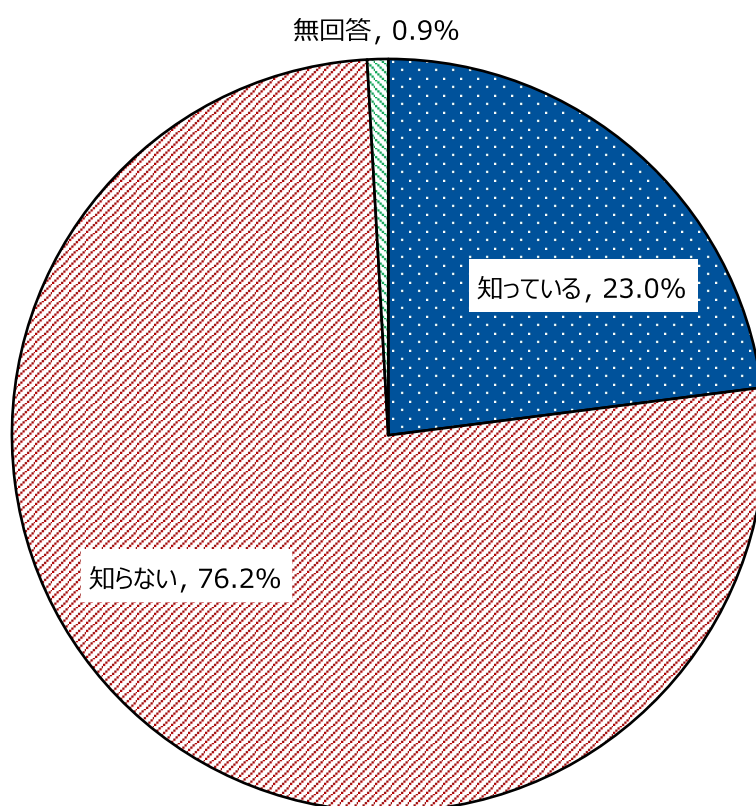
全体から見ると、「3 どちらかといえば感じない」と答えた人が最も多く、40.2%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「3 どちらかといえば感じない」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 44.4%、次いで 70～79 歳が 43.2%、次いで 60～69 歳が 41.8%となっています。

問 6 鶴見区役所では、地域での支え合い・助け合いの意識づくりと活動への参加促進に向け、公的な福祉サービスでは対象外とされている、外出時の付き添いなど日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動」（通称：『あいまち』）を実施しています。あなたは、『あいまち』を知っていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	知っている	132	23.0 %
2	知らない	438	76.2 %
3	無回答	5	0.9 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

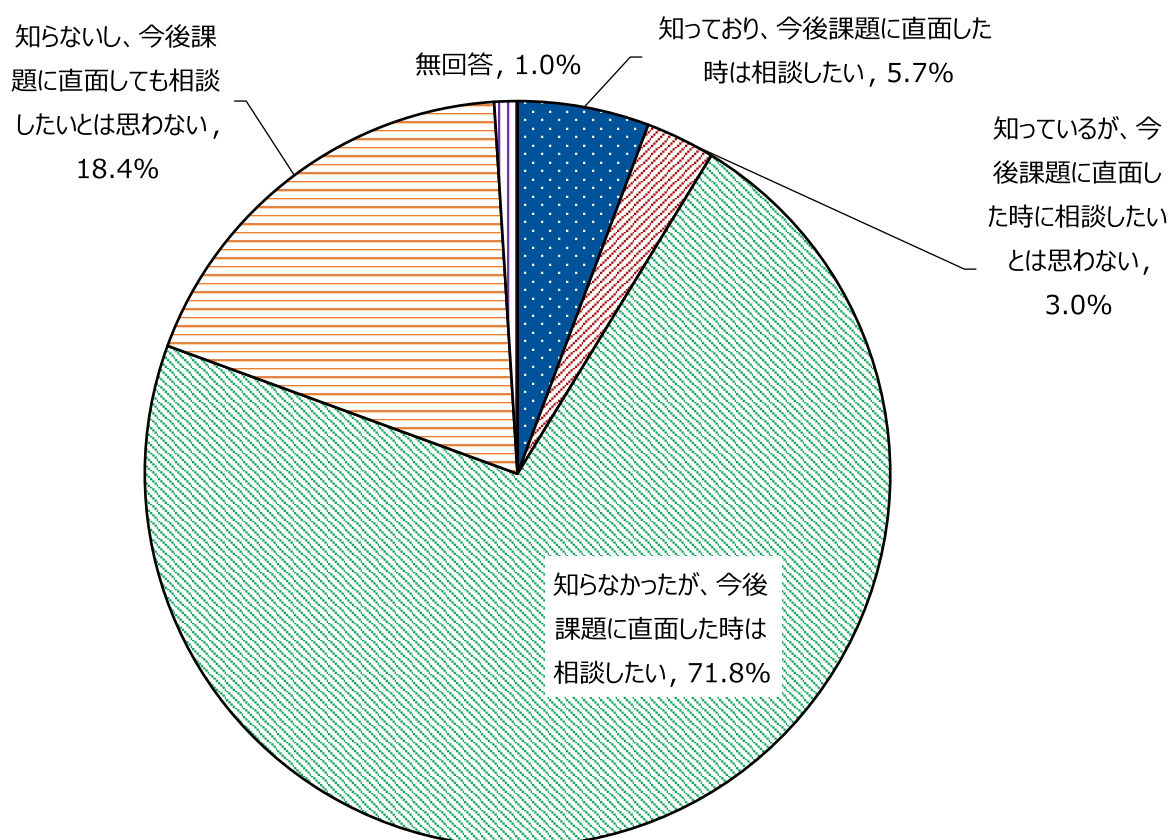
全体から見ると、「2 知らない」と答えた人が多く、76.2%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「2 知らない」と回答した割合を見ると、18～29 歳が 93.6%、次いで 30～39 歳が 88.4%、次いで 50～59 歳が 75.2%となっています。

問7 鶴見区には、地域の身近な相談窓口として専門機関などと連携し、さまざまな生活課題を抱えた人を支援につなげていく「地域福祉コーディネーター」（通称:『つなげ隊』）が各地域（小学校区ごと）にいます。あなたは、『つなげ隊』を知っていますか。また、こうした課題に直面した時に『つなげ隊』に相談しようと思いますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	知っており、今後課題に直面した時は相談したい	33	5.7 %
2	知っているが、今後課題に直面した時に相談したいとは思わない	17	3.0 %
3	知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい	413	71.8 %
4	知らないし、今後課題に直面しても相談したいとは思わない	106	18.4 %
5	無回答	6	1.0 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

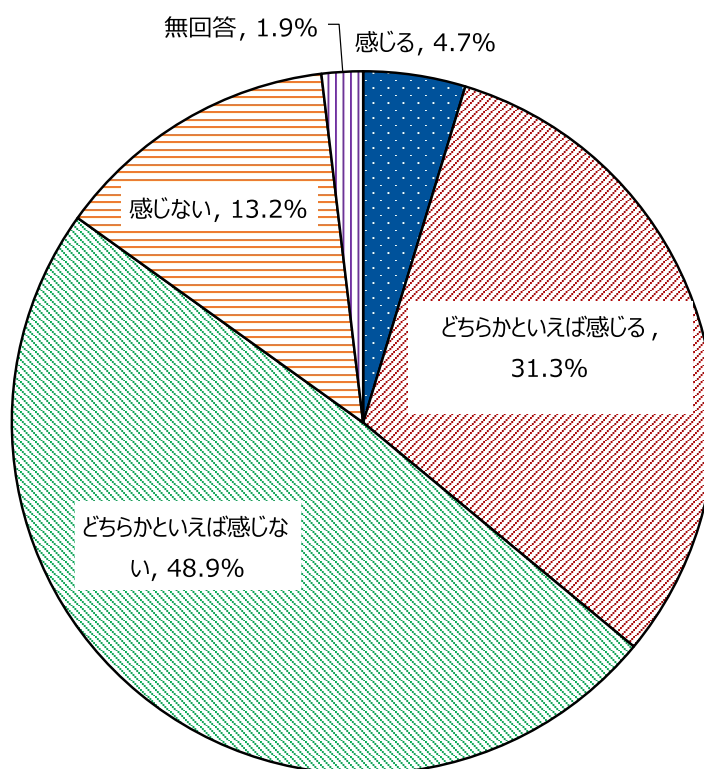
全体から見ると、「3 知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい」と答えた人が最も多く、71.8%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「3 知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 76.7%、次いで 30～39 歳が 75.6%、次いで 18～29 歳が 74.4%となっています。

問 8 鶴見区役所では、認知症の方をはじめ高齢者及び障がいのある方とその家族をサポートするため、相談支援体制の充実を図るとともに、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に取り組み、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めています。あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	27	4.7 %
2	どちらかといえば感じる	180	31.3 %
3	どちらかといえば感じない	281	48.9 %
4	感じない	76	13.2 %
5	無回答	11	1.9 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

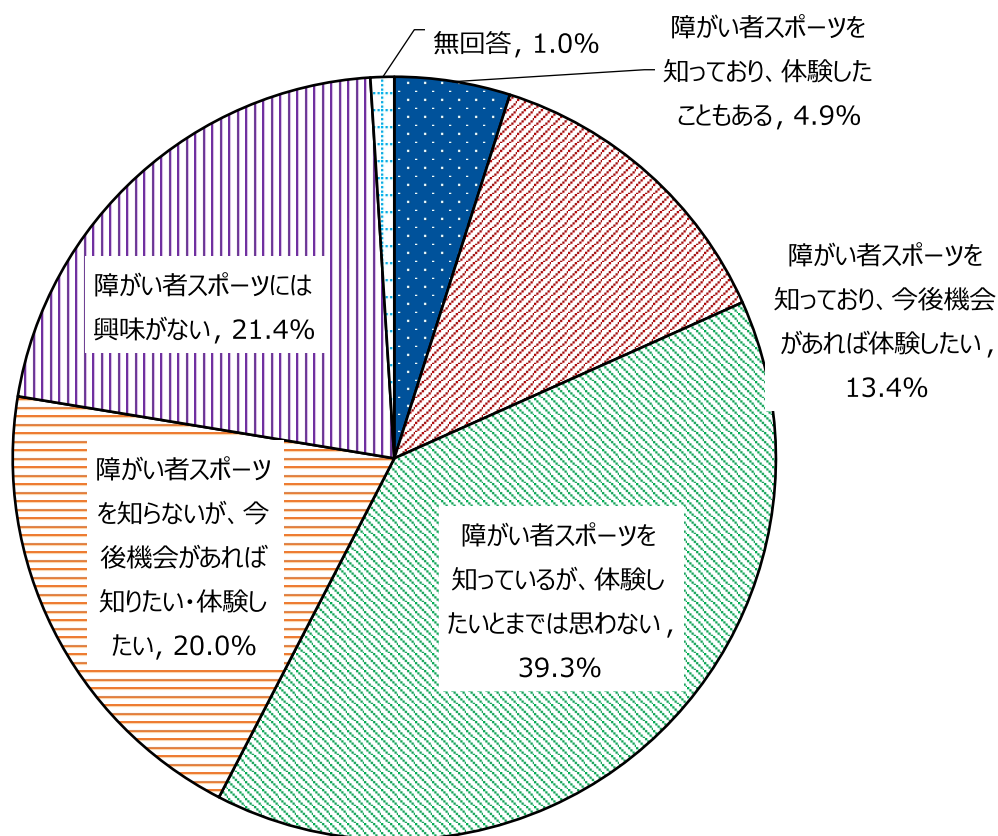
全体から見ると、「3 どちらかといえば感じない」と答えた人が最も多く、48.9%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「3 どちらかといえば感じない」と回答した割合を見ると、70～79 歳が 60.5%、次いで 60～69 歳が 58.2%、次いで 50～59 歳が 50.4%となっています。

問 9 鶴見区役所では、障がい者への理解を深めるため、障がい者スポーツの普及啓発に取り組んでいます。あなたは、障がい者スポーツについて関心や経験がありますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	障がい者スポーツを知っており、体験したこともある	28	4.9 %
2	障がい者スポーツを知っており、今後機会があれば体験したい	77	13.4 %
3	障がい者スポーツを知っているが、体験したいとまでは思わない	226	39.3 %
4	障がい者スポーツを知らないが、今後機会があれば知りたい・体験したい	115	20.0 %
5	障がい者スポーツには興味がない	123	21.4 %
6	無回答	6	1.0 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

全体から見ると、「3 障がい者スポーツを知っているが、体験したいとまでは思わない」と答えた人が最も多く、39.3%となりました。

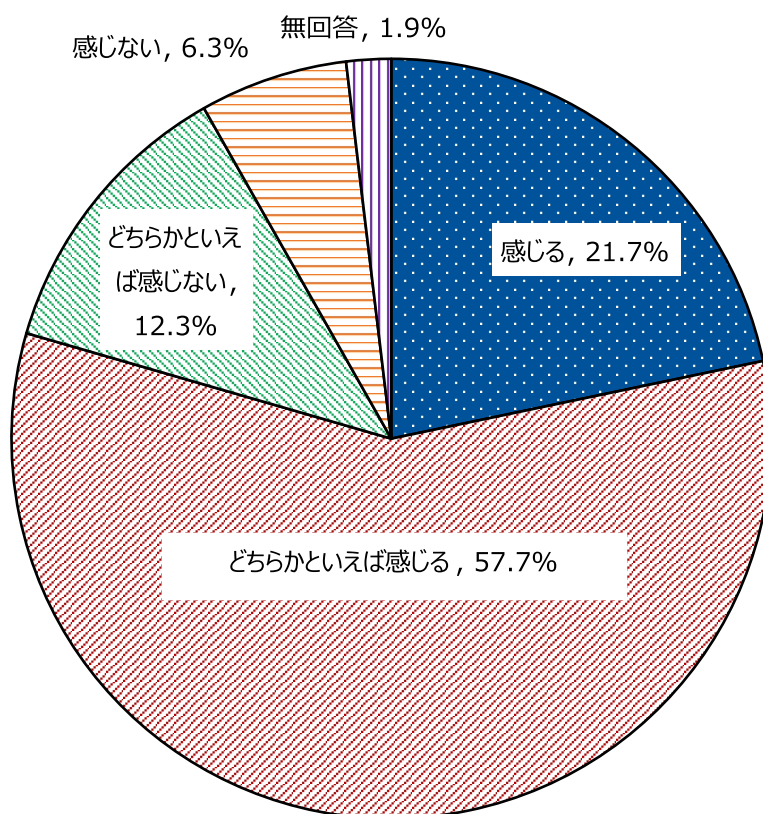
【年齢別傾向】

年齢別に「3 障がい者スポーツを知っているが、体験したいとまでは思わない」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 46.6%、次いで 40～49 歳が 45.6%、次いで 60～69 歳が 44.0%となっています。

3. 子育てについて

問 10 あなたは、鶴見区は子育てしやすいまちだと感じていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	125	21.7 %
2	どちらかといえば感じる	332	57.7 %
3	どちらかといえば感じない	71	12.3 %
4	感じない	36	6.3 %
5	無回答	11	1.9 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

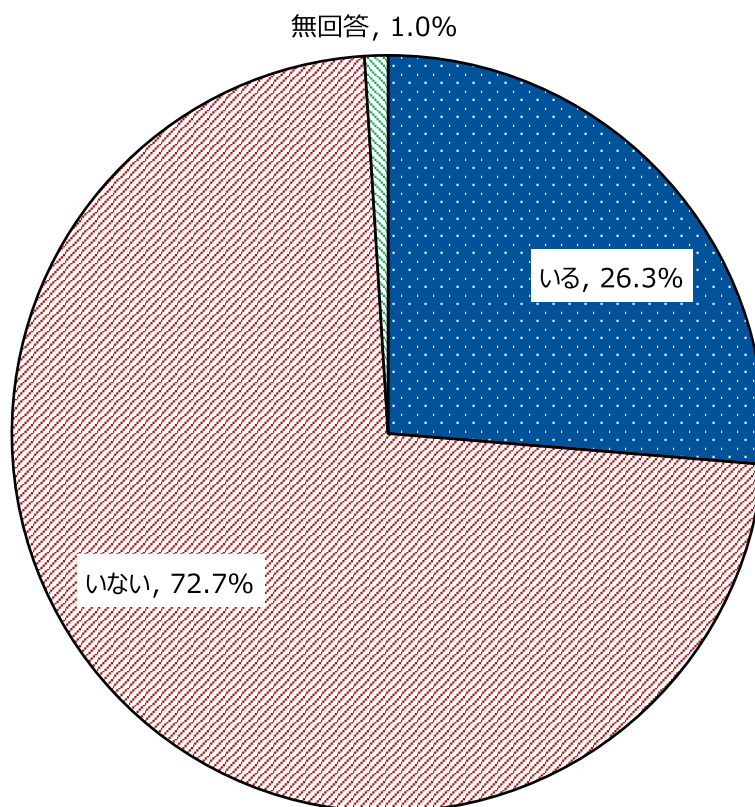
全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、57.7%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合を見ると、18～29 歳及び 60～69 歳が 61.5%、次いで 40～49 歳が 59.2%、次いで 50～59 歳が 58.6%となっています。

問 11 あなたの世帯に現在、中学生以下の子どもはいますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	いる	151	26.3 %
2	いない	418	72.7 %
3	無回答	6	1.0 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

全体から見ると、「2 いない」と答えた人が多く、72.7%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「2 いない」と回答した割合を見ると、60～69 歳が 98.9%、次いで 70～79 歳が 96.3%、次いで 50～59 歳が 85.7%となっています。

問 11 （問 11 で「1 いる」と回答された方へ）

子どもは、次のどれにあてはまりますか。（いくつでも選んでください）

項番	選択肢	件数	割合	
1	小学校就学前	72	47.7 %	 47.7%
2	小学生	71	47.0 %	 47.0%
3	中学生	44	29.1 %	 29.1%
4	無回答	4	2.6 %	 2.6%
合計		151	—	

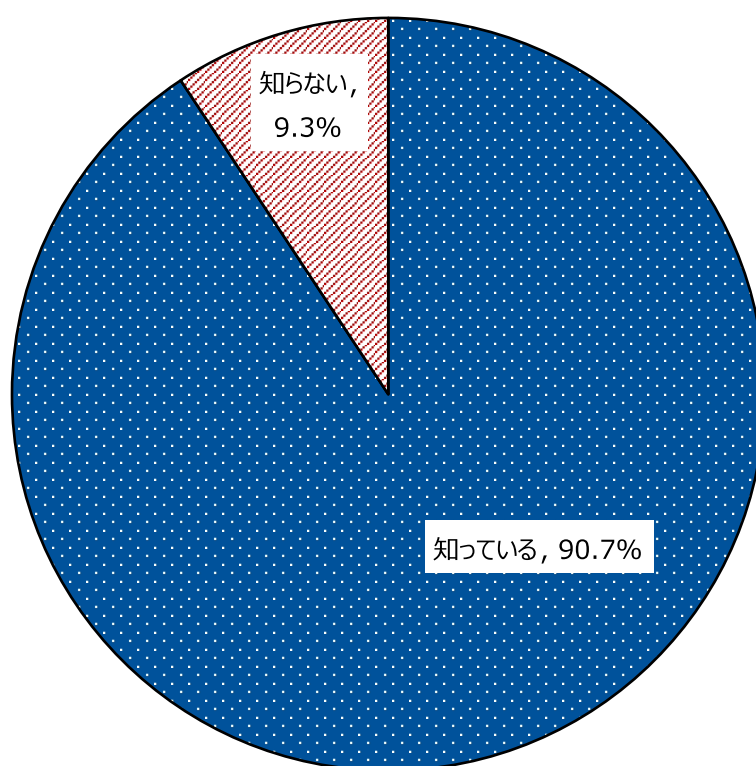
【全体的傾向】

全体から見ると、「1 小学校就学前」と答えた人が最も多く、47.7%となりました。

問 12 （問 11 で「1 いる」と回答された方へ）

あなたは、区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで、子育て相談ができることを知っていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	知っている	137	90.7 %
2	知らない	14	9.3 %
3	無回答	0	0.0 %
合計		151	100 %



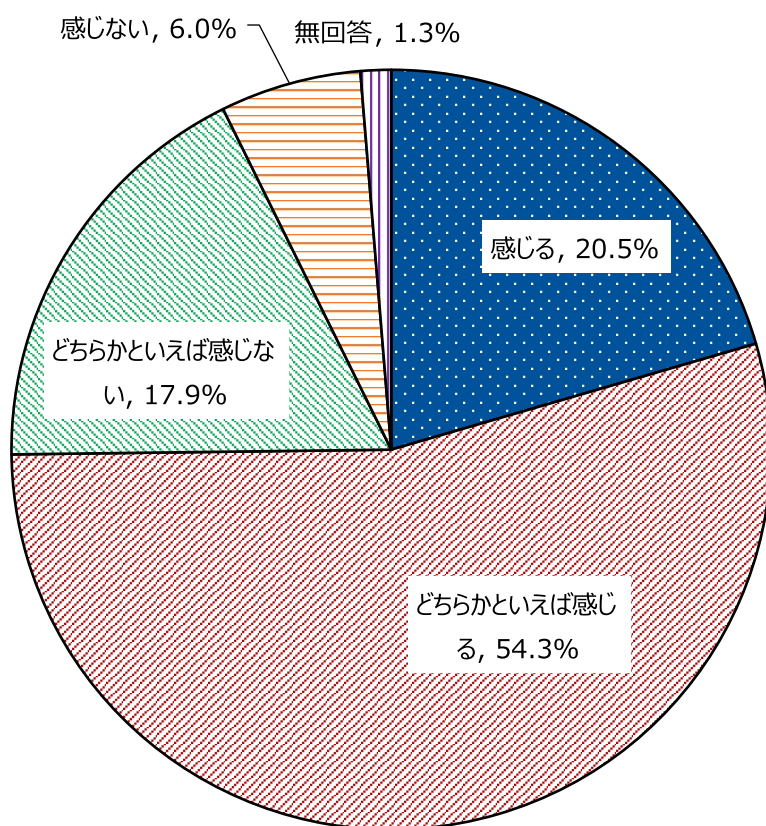
【全体的傾向】

全体から見ると、「1 知っている」と答えた人が多く、90.7%となりました。

問 13 （問 11 で「1 いる」と回答された方へ）

あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	31	20.5 %
2	どちらかといえば感じる	82	54.3 %
3	どちらかといえば感じない	27	17.9 %
4	感じない	9	6.0 %
5	無回答	2	1.3 %
合計		151	100 %



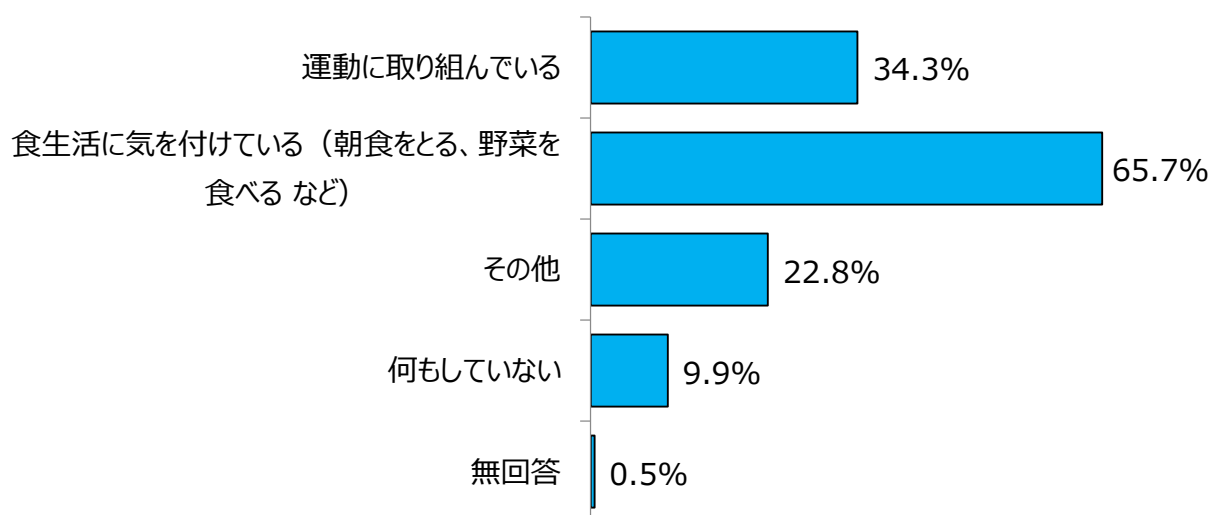
【全体的傾向】

全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、54.3%となりました。

4. 健康管理について

問 14 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取組みを行っていますか。（いくつでも選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	運動に取り組んでいる	197	34.3 %
2	食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）	378	65.7 %
3	その他	131	22.8 %
4	何もしていない	57	9.9 %
5	無回答	3	0.5 %
合計		575	—



【全体的傾向】

全体から見ると、「2 食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）」と答えた人が最も多く、65.7%となりました。

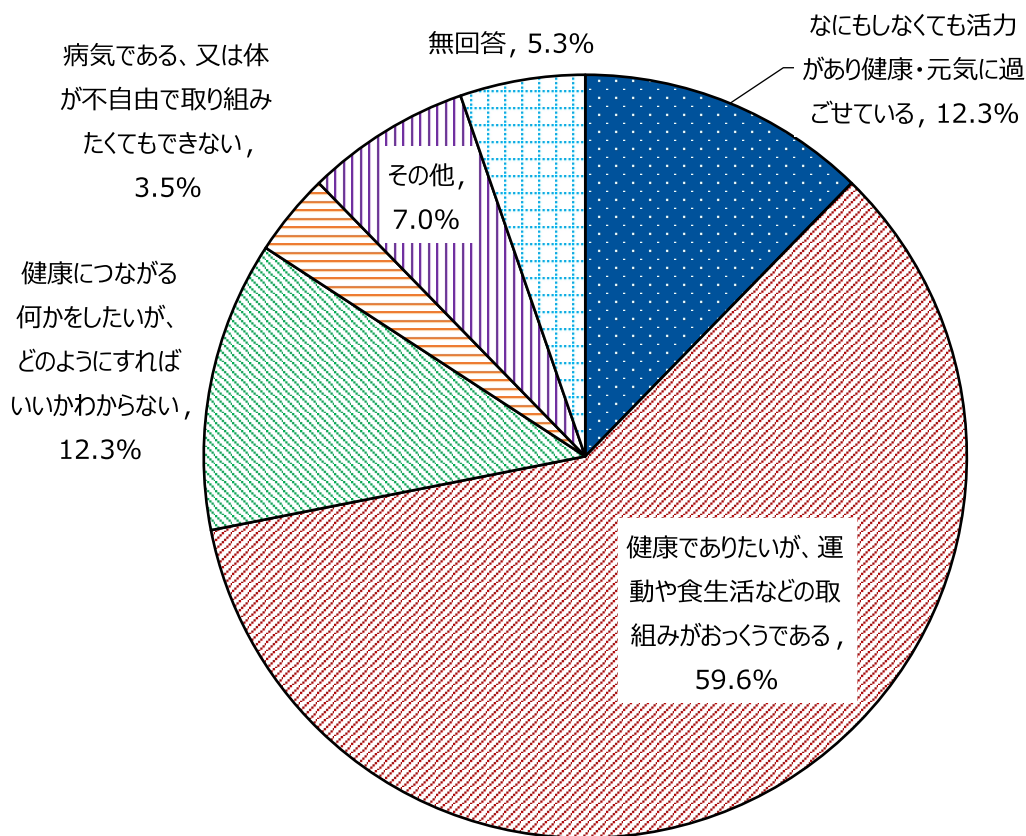
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・運動まではいかないがなるべく歩く、EV より)階段を使うなど意識している。
- ・食後の歯磨き、毎日の血圧測定、健康診断を受ける、睡眠をたっぷりとるを毎日実施しています。
- ・体重を測っている。食後の歯磨き、たばこをやめた、健康診断を受ける
- ・犬と散歩、飲み過ぎない、睡眠をよく取る
- ・定期検診、かかりつけ医の定期的な受診（内科、歯科）、休肝日を設ける、食後の歯間ブラシも用いた歯磨き

問 15 （問 14 で「4 何もしていない」と回答された方へ）

あなたが、健康に関する取組みを行わない理由は何ですか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	なにもしなくても活力があり健康・元気に過ごせている	7	12.3 %
2	健康でありたいが、運動や食生活などの取組みがおっくうである	34	59.6 %
3	健康につながる何かをしたいが、どのようにすればいいかわからない	7	12.3 %
4	病気である、又は体が不自由で取組みたくてもできない	2	3.5 %
5	その他	4	7.0 %
6	無回答	3	5.3 %
合計		57	100 %



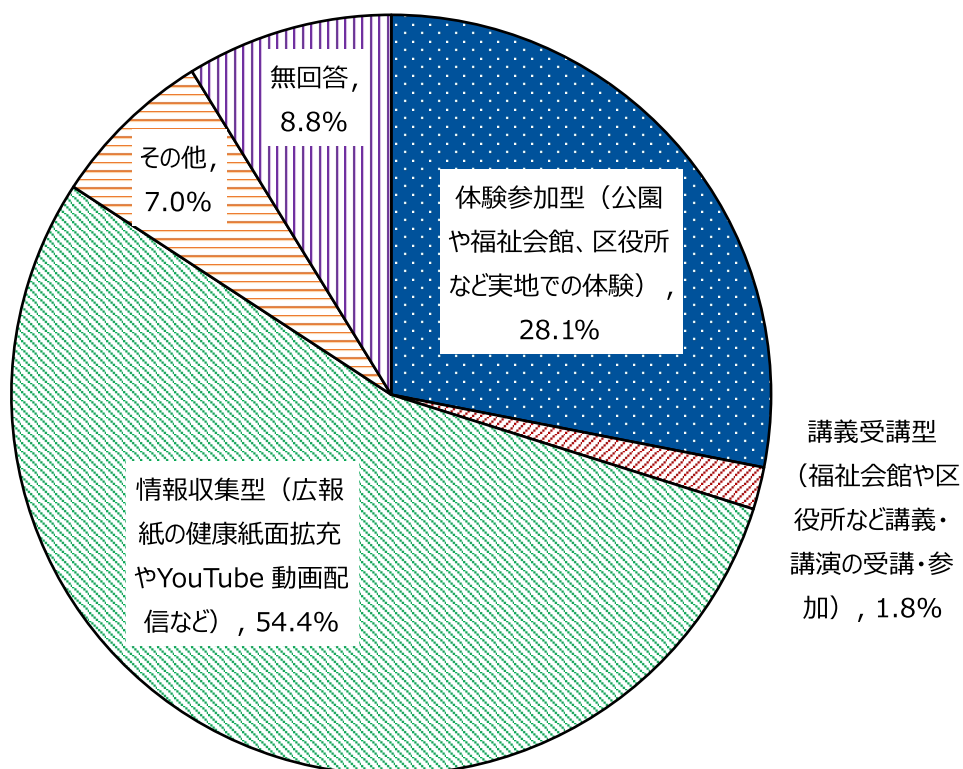
【全体的傾向】

全体から見ると、「2 健康でありたいが、運動や食生活などの取組みがおっくうである」と答えた人が最も多く、59.6%となりました。

問 16 （問 14 で「4 何もしていない」と回答された方へ）

鶴見区役所では、運動や食生活など健康に関する取り組む機会のない人にも、健康につながるきっかけとなるイベントや情報発信を検討しています。あなたは、次のどの形式であれば興味がありますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	体験参加型（公園や福祉会館、区役所など実地での体験）	16	28.1 %
2	講義受講型（福祉会館や区役所など講義・講演の受講・参加）	1	1.8 %
3	情報収集型（広報紙の健康紙面拡充や YouTube 動画配信など）	31	54.4 %
4	その他	4	7.0 %
5	無回答	5	8.8 %
合計		57	100 %

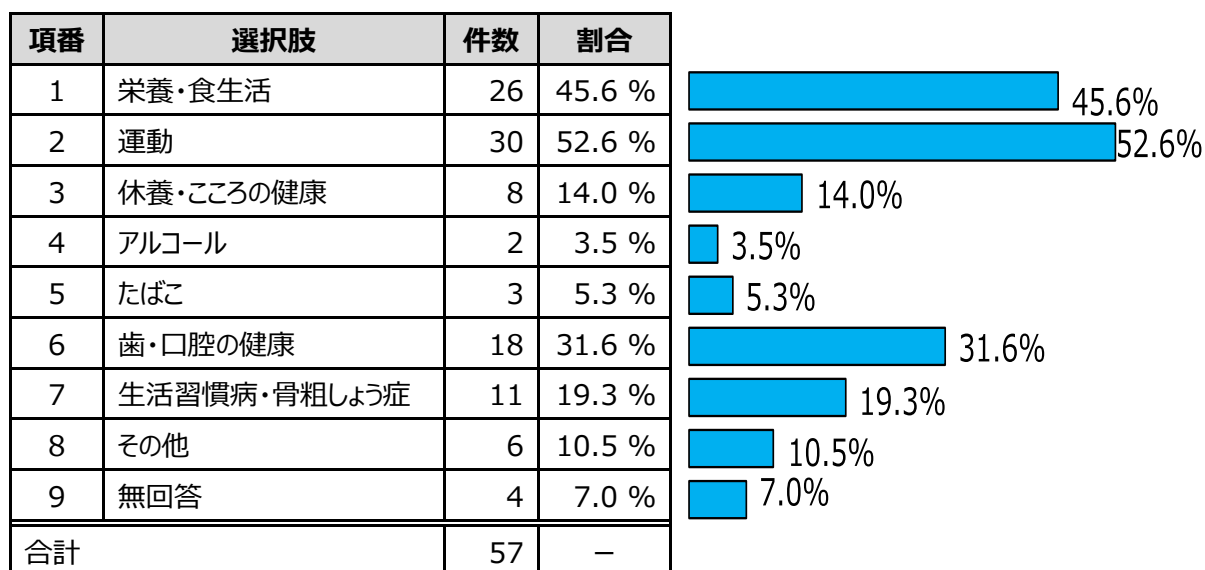


【全体的傾向】

全体から見ると、「3 情報収集型（広報紙の健康紙面拡充や YouTube 動画配信など）」と答えた人が最も多く、54.4%となりました。

問 17 (問 14 で「4 何もしていない」と回答された方へ)

あなたは、次のどの内容であれば参加等してみたいですか。(3つまで選んでください)



【全体的傾向】

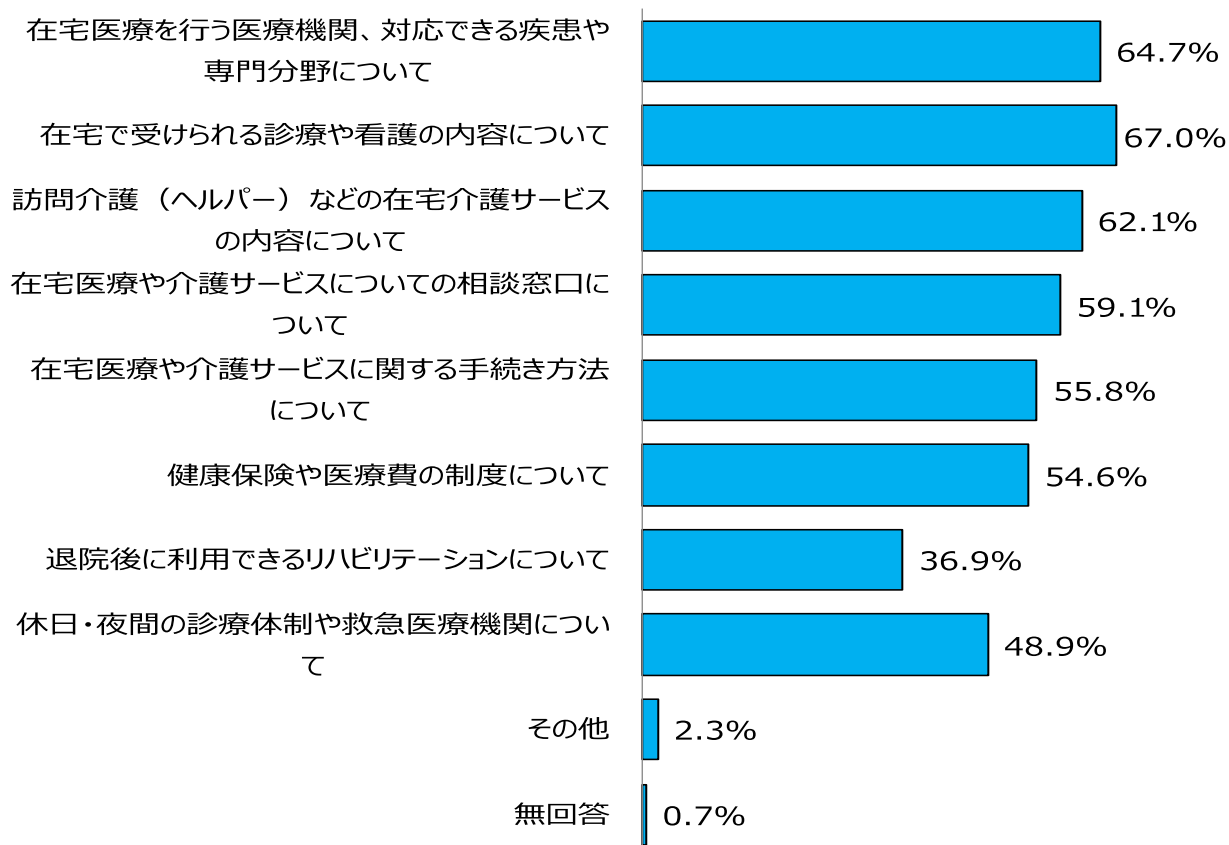
全体から見ると、「2 運動」と答えた人が最も多く、52.6%となりました。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・ながら運動
- ・質問自体介護の現実が分かっていない！

問 18 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。(いくつでも選んでください)

項番	選択肢	件数	割合
1	在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について	372	64.7 %
2	在宅で受けられる診療や看護の内容について	385	67.0 %
3	訪問介護（ヘルパー）などの在宅介護サービスの内容について	357	62.1 %
4	在宅医療や介護サービスについての相談窓口について	340	59.1 %
5	在宅医療や介護サービスに関する手続き方法について	321	55.8 %
6	健康保険や医療費の制度について	314	54.6 %
7	退院後に利用できるリハビリテーションについて	212	36.9 %
8	休日・夜間の診療体制や救急医療機関について	281	48.9 %
9	その他	13	2.3 %
10	無回答	4	0.7 %
合計		575	—



【全体的傾向】

全体から見ると、「2 在宅で受けられる診療や看護の内容について」と答えた人が最も多く、67.0%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「2 在宅で受けられる診療や看護の内容について」と回答した割合を見ると、60～69 歳が

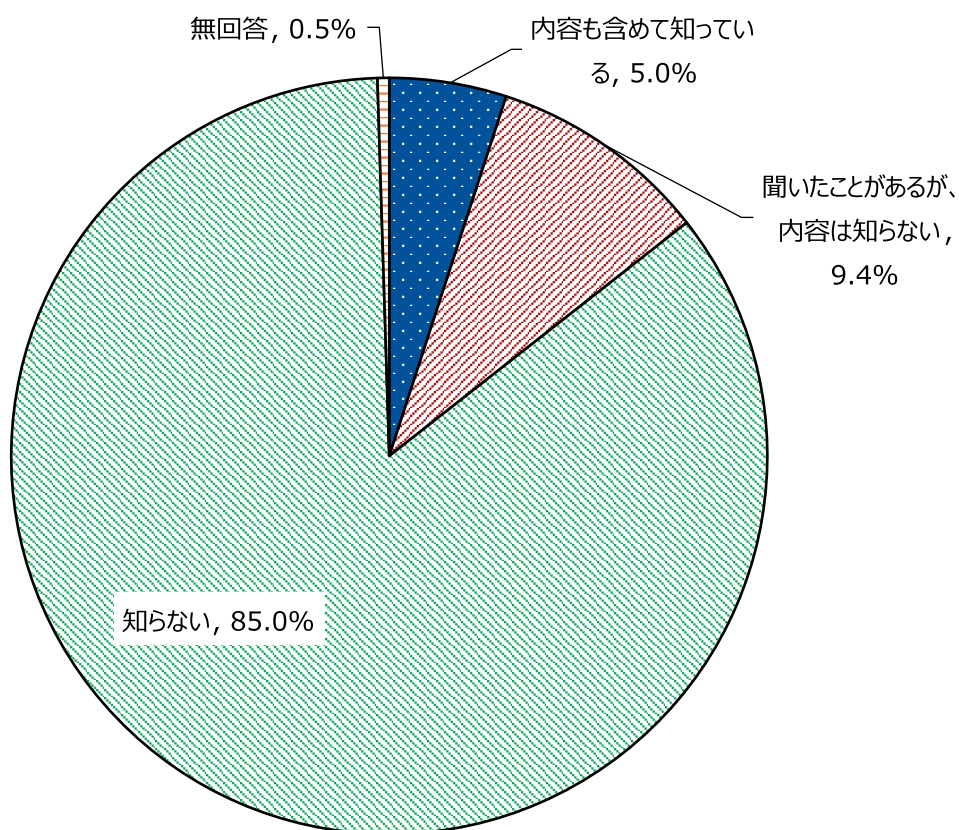
73.6%、次いで 50～59 歳が 72.9%、次いで 40～49 歳が 69.9%となっています。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・情報はもとより、公的体制を強化してほしい
- ・介護施設情報とランキング
- ・複雑なサービスを 1 つ相談できる場所(色々な所に行かないといけないのでどこに行けばいいのか分からなくなる)
- ・訪問鍼灸・マッサージなど身体の痛みについてもケアしてくれるので、実施しているところを知りたい
- ・介護費用の相談

問 19 あなたは、「人生会議」を知っていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	内容も含めて知っている	29	5.0 %
2	聞いたことがあるが、内容は知らない	54	9.4 %
3	知らない	489	85.0 %
4	無回答	3	0.5 %
合計		575	100 %



【全体的傾向】

全体から見ると、「3 知らない」と答えた人が最も多く、85.0%となりました。

【年齢別傾向】

年齢別に「3 知らない」と回答した割合を見ると、60～69 歳が 93.4%、次いで 50～59 歳が 91.0%、次いで 40～49 歳が 82.5%となっています。

5. 鶴見区全般について

問 20 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【情報発信・相談しやすさの向上】

- ・必要な情報が届きやすい仕組みを求める意見がある
- ・相談窓口が分かりにくいという声がある
- ・相談先の一本化を望む意見がある
- ・スーパー、コンビニ、店舗、掲示など身近な場所での情報発信を求める声がある
- ・高齢者や独居の人にも使いやすい情報提供を求める意見がある

【高齢者・介護・見守り支援】

- ・高齢者の移動、相談、安否確認を求める意見がある
- ・介護に関する不安や負担が示されている
- ・高齢者が利用しやすい制度や環境を求める声がある
- ・独居高齢者への支援を望む意見がある
- ・介護用品や介護関連情報へのアクセス向上を求める声がある

【子育て・子どもの居場所や支援】

- ・保育所や子ども向け施設の充実を求める意見がある
- ・小さい子どもが安心して遊べる場を求める声がある
- ・子どもの放課後の居場所づくりを求める意見がある
- ・子育て世代への支援拡充を望む声がある
- ・子ども向けの企画や学びの機会を求める意見がある

【交通環境・自転車対策】

- ・自転車マナーの悪さや危険性を指摘する意見が多い
- ・自転車専用道路やレーン整備を求める声がある
- ・歩道の拡幅や通行しやすさの改善を求める意見がある
- ・放置自転車や駅周辺の自転車問題への意見がある
- ・交通安全教育や警察の注意喚起を求める声がある

【道路・歩道・バリアフリー等の環境整備】

- ・道路や歩道の整備を求める意見がある
- ・段差やでこぼこなど通行のしにくさが指摘されている
- ・車椅子やベビーカーでも通りやすい環境を求める声がある
- ・交差点や道路改良を求める意見がある
- ・駅周辺や狭い道路の改善を望む声がある

【防犯・パトロール・安全対策】

- ・防犯対策の強化を求める意見がある
- ・警察や警備員によるパトロール強化を望む声がある

- ・防犯カメラ設置を求める意見がある
- ・夜道や治安への不安が示されている
- ・地域の安全を高める設備や取組を求める声がある

【地域交流・イベント・参加の場づくり】

- ・地域住民が関われるイベントを求める意見がある
- ・世代を超えた交流の機会を望む声がある
- ・手間が少なく参加しやすい地域活動を求める意見がある
- ・公民館や公園などを活用した活動の充実を望む声がある
- ・地域のつながりづくりを重視する意見がある

【公共交通・移動支援】

- ・区内移動を支える交通手段を求める意見がある
- ・高齢者や子育て世代に使いやすい交通を望む声がある
- ・赤バスのような移動手段の復活を求める意見がある
- ・オンデマンドバスの充実や範囲拡大を求める声がある
- ・駅や地域を結ぶ移動の利便性向上を求める意見がある

【生活環境・美化・公園整備】

- ・街の美観や清潔さを求める意見がある
- ・ごみ置場、落ち葉、清掃、街の汚れへの指摘がある
- ・公園や緑地の整備・活用を求める声がある
- ・街の印象や快適さの向上を望む意見がある
- ・ボランティア清掃や維持管理への提案がある

【制度・支援の公平性や行政手続き】

- ・支援制度の対象や内容に不公平感を示す意見がある
- ・子育て世代以外への支援も求める声がある
- ・行政手続きの簡素化や効率化を求める意見がある
- ・窓口や制度運用への負担感が示されている
- ・現役世代や若年層も含めた支援を望む声がある

Ⅲ 調査票

第1回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに選択肢から該当する答えを選び、□に ✓ をつけてください。
- 「その他」については、() に具体的な内容を記入してください。

貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



1. 情報の入手について

問1 あなたは、鶴見区役所が実施する広報（『広報つるみ』、ホームページ、SNS、広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選んでください）

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--------|--------|
| ☐ 1 できている | } | (⇒問2へ) | |
| ☐ 2 ほぼできている | | | |
| ☐ 3 あまりできていない | | | (⇒問3へ) |
| ☐ 4 できていない | | | |



※鶴見区役所広報紙（『広報つるみ』）毎月発行

問2は、問1で「1 できている」又は「2 ほぼできている」と回答された方のみお答えください。

問2 あなたは、どのような媒体から区政情報を入手していますか。

（いくつでも選んでください）（⇒問4へ）

- ☐ 1 鶴見区役所 広報紙（「広報つるみ」）
- ☐ 2 鶴見区役所 ホームページ
- ☐ 3 鶴見区役所 X（旧ツイッター）
- ☐ 4 鶴見区役所 フェイスブック
- ☐ 5 大阪市 LINE 公式アカウント
- ☐ 6 鶴見区役所 YouTube
- ☐ 7 区内各所にある区広報板
- ☐ 8 駅構内にある区広報板
- ☐ 9 町会の掲示板（※区役所からの依頼分）
- ☐ 10 鶴見区役所主催の各イベントにおけるチラシ配布
- ☐ 11 その他（)

問3は、問1で「3 あまりできていない」又は「4 できていない」と回答された方のみお答えください。

問3 あなたが、必要とする区政情報を必要なときに入手できていない理由は何ですか。

(1つ選んでください) (⇒問4へ)

- ☐ 1 発信される情報が自身に関わりがないため
- ☐ 2 発信される情報の頻度や更新が少ないため
- ☐ 3 発信される情報の媒体を目にする機会が少ないため
- ☐ 4 そもそも区政情報を必要としていない
- ☐ 5 その他 ()

問4 あなたは、鶴見区役所が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政（事業等の内容、イベントやお知らせ）について関心が高まりましたか。

(1つ選んでください)

- ☐ 1 高まった
- ☐ 2 少し高まった
- ☐ 3 あまり高まらなかった
- ☐ 4 全然高まらなかった



2. 地域福祉の推進について

問5 鶴見区役所では、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めています。

あなたは、災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。

(1つ選んでください)

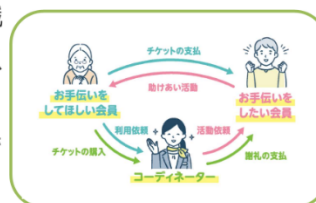
- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない

問6 鶴見区役所では、地域での支え合い・助け合いの意識づくりと活動への参加促進に向け、公的な福祉サービスでは対象外とされている、外出時の付き添いなど日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動」

(通称:『あいまち』)を実施しています。

あなたは、『あいまち』を知っていますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 知っている
- ☐ 2 知らない



問 7 鶴見区には、地域の身近な相談窓口として専門機関などと連携し、さまざまな生活課題を抱えた人を支援につなげていく「地域福祉コーディネーター」（通称:『つなげ隊』）が各地域（小学校区ごと）にいます。

あなたは、『つなげ隊』を知っていますか。

また、こうした課題に直面した時に『つなげ隊』に相談しようと思いますか。

（1つ選んでください）

- ☐ 1 知っており、今後課題に直面した時は相談したい
- ☐ 2 知っているが、今後課題に直面した時に相談したいとは思わない
- ☐ 3 知らなかったが、今後課題に直面した時は相談したい
- ☐ 4 知らないし、今後課題に直面しても相談したいとは思わない

問 8 鶴見区役所では、認知症の方をはじめ高齢者及び障がいのある方とその家族をサポートするため、相談支援体制の充実を図るとともに、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に取り組み、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めています。

あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない



問 9 鶴見区役所では、障がい者への理解を深めるため、障がい者スポーツの普及啓発に取り組んでいます。

あなたは、障がい者スポーツについて関心や経験がありますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 障がい者スポーツを知っており、体験したこともある
- ☐ 2 障がい者スポーツを知っており、今後機会があれば体験したい
- ☐ 3 障がい者スポーツを知っているが、体験したいとは思わない
- ☐ 4 障がい者スポーツを知らないが、今後機会があれば知りたい・体験したい
- ☐ 5 障がい者スポーツには興味がない

3. 子育てについて

問 10 あなたは、鶴見区は子育てしやすいまちだと感じていますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない



問 11 あなたの世帯に現在、中学生以下の子どもはいますか。

（1つ選んでください。「1 いる」と回答された方は、ア～ウからも選んでください。）

- ☐ 1 いる ⇒ 子どもは、次のどれにあてはまりますか。（いくつでも選んでください）
 - ☐ ア 小学校就学前
 - ☐ イ 小学生
 - ☐ ウ 中学生 } (⇒問 12 へ)
- ☐ 2 いない (⇒問 14 へ)

問 12 は、問 11 で「1 いる」と回答された方のみお答えください。

問 12 あなたは、区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで、子育て相談ができることを知っていますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 知っている
- ☐ 2 知らない

問 13 は、問 11 で「1 いる」と回答された方のみお答えください。

問 13 あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。

（1つ選んでください）

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない



4. 健康管理について

問 14 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取り組みを行っていますか。

(いくつでも選んでください)

- ☐ 1 運動に取り組んでいる
 - ☐ 2 食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）
 - ☐ 3 その他（ ）

食後の歯磨き、毎日の血圧や体重の測定、たばこを控える、
 休肝日をもうける、健康診断を受ける、睡眠をたっぷり取る など
 - ☐ 4 何もしていない (⇒問 15 へ)
- } (⇒問 18 へ)

問 15 は、問 14 で「4 何もしていない」と回答された方のみお答えください。

問 15 あなたが、健康に関する取り組みを行わない理由は何ですか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 なにもしなくても活力があり健康・元気に過ごせている
- ☐ 2 健康でありたいが、運動や食生活などの取り組みがおっくうである
- ☐ 3 健康につながる何かをしたいが、どのようにすればいいかわからない
- ☐ 4 病気である、又は体が不自由で取り組みたくてもできない
- ☐ 5 その他（ ）

問 16 は、問 14 で「4 何もしていない」と回答された方のみお答えください。

問 16 鶴見区役所では、運動や食生活など健康に関する取り組む機会のない人にも、健康につながるきっかけとなるイベントや情報発信を検討しています。

あなたは、次のどの形式であれば興味がありますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 体験参加型（公園や福社会館、区役所など実地での体験）
- ☐ 2 講義受講型（福社会館や区役所など講義・講演の受講・参加）
- ☐ 3 情報収集型（広報紙の健康紙面拡充や YouTube 動画配信など）
- ☐ 4 その他（ ）



問 17 は、問 14 で「4 何もしていない」と回答された方のみお答えください。

問 17 あなたは、次のどの内容であれば参加等してみたいですか。（3つまで選んでください）

- | | |
|---|------------------------------------|
| ☐ 1 栄養・食生活 | ☐ 2 運動 |
| ☐ 3 休養・こころの健康 | ☐ 4 アルコール |
| ☐ 5 たばこ | ☐ 6 歯・口腔の健康 |
| ☐ 7 生活習慣病・骨粗しょう症 | |
| ☐ 8 その他（ | ） |

問 18 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

- | | |
|--|---|
| ☐ 1 在宅医療(※)を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について | |
| ☐ 2 在宅で受けられる診療や看護の内容について | |
| ☐ 3 訪問介護（ヘルパー）などの在宅介護サービスの内容について | |
| ☐ 4 在宅医療や介護サービスについての相談窓口について | |
| ☐ 5 在宅医療や介護サービスに関する手続き方法について | |
| ☐ 6 健康保険や医療費の制度について | |
| ☐ 7 退院後に利用できるリハビリテーションについて | |
| ☐ 8 休日・夜間の診療体制や救急医療機関について | |
| ☐ 9 その他（ | ） |



※在宅医療……通院が困難な方のご自宅に医師や看護師等が訪問し、ご自宅で診療を受けていただくことで、在宅での療養生活を支援するものです。

問 19 あなたは、「人生会議」(※)を知っていますか。（1つ選んでください）

※人生会議……誰でも、いつでも、命に係わる大きな病気やケガをする可能性があります。もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組みを「人生会議」（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）といいます。

- | |
|--|
| ☐ 1 内容も含めて知っている |
| ☐ 2 聞いたことがあるが、内容は知らない |
| ☐ 3 知らない |



5. 鶴見区全般について

問 20 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

6. あなたご自身について

問 21 あなたの性別をお答えください。（1つ選んでください）

- ☐ 1 男性 ☐ 2 女性 ☐ 3 その他

問 22 あなたの年齢をお答えください。（1つ選んでください）

- ☐ 1 30 歳未満 ☐ 2 30～39 歳
☐ 3 40～49 歳 ☐ 4 50～59 歳
☐ 5 60～69 歳 ☐ 6 70 歳以上

問 23 あなたのお住まいの地域をお答えください。（1つ選んでください）

- ☐ 1 緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）
☐ 2 鶴見北地域（鶴見小学校区）
☐ 3 鶴見地域（鶴見南小学校区）
☐ 4 榎本地域（榎本小学校区）
☐ 5 今津地域（今津小学校区）
☐ 6 茨田南地域（茨田南小学校区）
☐ 7 茨田地域（茨田小学校区）
☐ 8 茨田東地域（茨田東小学校区）
☐ 9 茨田北地域（茨田北小学校区）
☐ 10 焼野地域（焼野小学校区）
☐ 11 茨田西地域（茨田西小学校区）
☐ 12 横堤地域（横堤小学校区）
☐ 13 分からない

問 24 あなたは、鶴見区にお住まいになって何年ですか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 1年未満
- ☐ 2 1年以上5年未満
- ☐ 3 5年以上10年未満
- ☐ 4 10年以上

ご協力ありがとうございました



お手数ですが **令和8年1月14日（水）** までに、
この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

鶴見区役所からのお知らせ

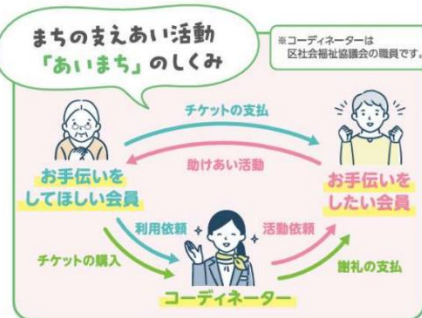
まちの支えあい活動「あいまち」をはじめてみませんか？

通称「あいまち」とは、
「ちょっと困ったな、助けてほしいな」
の声に地域住民同士が気軽に
ささえあえる相互援助活動です。
お手伝いしてほしい方も、
お手伝いしたい方も

まずは会員登録を！

問合せ

まちの支えあい活動「あいまち」事務局
（運営：社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会）
電話番号：06-6913-7066



詳しくは
こちらから▶

